



様式第7号

議長	副議長	局長	次長	主幹	係長	

行政視察報告書

令和 7年 9月 8日

笠岡市議会 議長 殿

(出張者) 議員 大山 盛久 (印) 議員 西山 博行 (印)
 議員 山本 聡 (印) 議員 (印)
 議員 (印) 議員 (印)

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】 北海道 むかわ町 I LOVE ファーム事業所 視察

住 所	北海道勇払郡むかわ町豊成311-26
電 話	0145-42-7050
視察案件	表敬訪問 (I LOVE ファーム笠岡 北海道本社関連施設)
期 日	令和 7年 8月26日 (火) 14 時 00 分から 16時 00分まで
応 対 者	別紙名刺のとおり (出羽 豊純 代表取締役)
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	有限会社 ILOVE ファーム 日胆 (にったん)
概 要	全国7か所でブロッコリー栽培を手掛ける ILOVE ファームグループの主力である北海道むかわ町にある日胆 (にったん) 地区の集荷場を視察。出羽社長による会社説明と現場集荷場を視察。全国で700ha の栽培面積を持つ同社の主力施設。北海道では約300ha 栽培。圃場は点在しているそう。笠岡干拓地での栽培面積は約100ha だが、圃場との集荷場、選別施設の効率性は笠岡が全国で一番良いとのこと。また、人集め(圃場管理、出荷作業人)なども笠岡が優れているとの評価。そのうえブロッコリーそのものの糖度も高く、笠岡産ブロッコリーが全国で一番美味しい、と高評価。
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【2】 県 議会

住 所	北海道札幌市中央区北1条西1丁目
電 話	011-271-1000
視察案件	第20回全国市議会議長会研究フォーラム
期 日	令和7年8月27日
応 対 者	全国市議会議長会 研究フォーラム実行委員会
視察状況	フォーラム参加(8/27, 28)
訪問施設	札幌文化芸術劇場 hitaru
概 要 添付書類	市議会議員の共通する政策課題についての情報、意見交換し、地方分権の時代にふさわしい議会機能の充実と活力に満ちた地域づくりに資することを目的に開催されるフォーラムに参加することによる笠岡市議会へのフィードバックを期待するもの。
	第20回フォーラムテーマ「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」について令和5年の通常国会において、地方議会の役割、及び議員の職務等の明確化などを内容とする地方自治法の一部改正が成立。多様な人材の地方議会への参画促進に向けた環境整備が進む中、若者や女性、会社員など多様な人材の市議会への参画の促進、対策が求められている。各市の最高意思決定機関としての市議会の在り方を報告を通し、基調講演のもとパネルディスカッションをおこない、市民にとって魅力ある議会を展望する。
	8/27 第1日
	基調講演 伊吹文明元衆議院議長 「主権を預かる誇りと責任」
	○ 議員に対し引退した後の保証をもっと整備する必要がある。
	○ 二元代表制のもと、法律の解釈の範囲で首長と対峙し政治権力を如何に扱うか、責任をもって向き合っていくか、法律の長所を活用すべき。
	○ 国、都道府県、市の権力配分が問題になる。
	○ 議員退職後の生活保障も大事である（生活保障を受けている元議員もいる）
	○ 人材確保のためにも一定の老後保障が必要だ。
	○ 選ばれしものとしての誇りと責任が大事、有権者を説得できる行動を。
	パネルディスカッション 「多様な人材確保の観点からなり手不足問題を考える」
	コーディネータ 辻 陽 近畿大学法学部教授
	パネリスト 牧原 出 東京大学教授
白石 洋一 読売新聞東京本社政治部次長	
山口 節子 山口県宇部市市議会議長	
長内 直也 札幌市議会議長	

8/28 第2日

課題討議 「 地方議会議員のなり手不足問題の取組報告 」

コーディネーター 牧瀬 稔 関東学院大学法学部地域創生学科教授

事例報告者 今井 康善 長野県岡谷市議会前議長

平神 純子 鹿児島県南さつま市議会議員

中野 進 石川県白山市議会議長

なり手不足 23年以降（コロナ明け）、統一地方選挙にて投票率の低下、無投票当選の割合が高くなった → なり手不足の傾向、多くの市議会の共通の課題その解決策の発表

岡谷市 → SNS 広報活動の強化、市民との意見交換、議会報告会の充実、選挙公営費の検討、シンポジウムの開催

みなみ薩摩市

→ 女性議員誕生に向けた取り組み、「鹿児島県内の女性議員を100人にする会」の立ち上げ（達成）

白山市 → 1) 議会の見える化、情報発信（SNS等）

2) 広報活動の促進（市民と対話）

3) 報酬のアップ（魅力化）

4) 制限緩和（兼業など）

